

広報
ふんたん


Vol.96

【特集】園部藩 立藩四〇〇年の軌跡

2019年
8・9月号



【特集】

園部藩

立藩四〇〇年の軌跡

2019(令和元)年は、園部藩が立藩して400年目の節目となる年です。

2006(平成18)年に船井郡園部町・八木町・日吉町、北桑田郡美山町の四町合併により発足した南丹市ですが、地域の多くはこの園部藩領に含まれており、市役所庁舎も園部城跡内に所在することは、偶然でありながらもどこか不思議なつながりを感じます。南丹市内では、園部藩やそれに関連した展示会や講演会が開催されます。この機会に園部藩が存在していた江戸時代を振り返り、ふるさとに受け継がれた伝統や文化について、考えてみませんか。

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】園部藩 立藩四〇〇年の軌跡**
- ⑧ **ぐるりんバス「新光悦村線」運行開始！**
- ⑩ **行政トピックス**
・令和元年度第1回南丹市医療対策審議会
・令和元年度第1回南丹市防災会議 ほか
- ⑫ **みんなで国保を考えよう**
- ⑭ **活躍する南丹市の人びと／インフォメーション**
- ⑮ **景観の小窓**
- ⑯ **協働のキャンパス**
- ⑳ **南丹市地域おこし協力隊レポート／福祉とわたし**
- ㉑ **食は、ひとづくり、まちづくり**
- ㉒ **いきいき南丹**
- ㉓ **人権の窓／ふ・れ・あ・い**
- ㉔ **図書館へようこそ！／暮らしにホッと**
- ㉕ **ぶらりなんたん**
- ㉖ **みんなのひろば**
・健康アンバサダー養成講座
・コミュニティ助成事業 ほか
- ㉘ **なんたんミュージアム／わが家のアイドル**

今月の表紙

8月11日、文化博物館で開催された「ダンボール甲冑づくり」での1シーン。参加した小学生らの個性が光る自分だけの甲冑ができました。



▲世木村出身の大力無双・山口関助が所用したと伝わる刀：生身天満宮蔵



▲10代を除く歴代藩主の五輪塔が立ち並ぶ小出家墓所(園部町)



▲園部城址櫓門(左)、番所(中央)、巽櫓(右)(園部町)



▲藩主の祈願所となり、小出の瓦が見られる大原神社(美山町)



▲園部藩主も寄進した京都帝釋天堂(八木町)



▲園部城から移築されたと伝わる安楽寺太鼓櫓(八木町)

江戸時代に成立した園部藩

園部藩がスタートしたのは、大坂夏の陣で豊臣家が滅亡した1615(慶長20)年からわずか4年後の1619(元和5)年です。

江戸時代の南丹市は、丹波国に位置し、周辺には亀山藩、篠山藩などの諸藩がありました。

但馬国出石藩主であった小出吉親は、29歳の時に幕府の命を受け、丹波国船井郡園部に転封となります。吉親は、藩政機構の拠点である園部城(当初は陣屋)を築造し、さらには藩経済の中心地として城下町を整備して、園部藩を展させていきました。

吉親の以後も、園部藩では小出氏が10代にわたって歴代藩主を務め、明治期の廃藩置県まで約250年間にわたって存続しました。



◆園部藩のデータ◆

領地：丹波国船井郡・桑田郡・
何鹿郡および上野国甘楽郡

石高：約3万石(成立時)

村数：185カ村(1810年代)

戸数：7,650軒(〃)

人口：34,528人(〃)

小出氏のルーツ

小出氏は大名としてあまり有名ではありませんが、実はみなさんも知っている戦国武将とつながりがあることをご存じでしょうか。

吉親の祖父である小出秀政は、豊臣秀吉と同郷の尾張国に生まれ、その縁から秀吉に仕えました。秀政の夫人は秀吉の叔母にあたり、豊臣家とは深い関係にあつたことから、秀吉の「秀」の一字を与えられたと言われています。秀政はその後秀吉の下、和泉国岸和田城主となって三万石を領有し、豊臣秀頼の補佐役も務めました。1600(慶長5)年には、嫡子



吉政と共に関ヶ原合戦に参戦し石田三成率いる西軍に加わり、合戦は徳川家康の東軍が勝利したため、敗れた秀政・吉政は処罰される可能性もありましたが、東軍に加わった次男秀家の活躍により所領は安堵されました。

江戸期になると、4代英貞は徳川吉宗のいとこにあたる人物を妻に迎えたり、幕府の要職に就くなど徳川家との関係もみることができま

す。このように、小出氏は豊臣家との近い関係によって大名としての地位を築き、戦国時代には名だたる武将とともに戦いながら生き延び、出石藩、園部藩、陶器藩の藩主となっていきました。

初代藩主 小出吉親(1590~1668)

- 1590(天正18)年 誕生。
- 1613(慶長18)年 23歳で出石城主になり、翌年の大坂夏の陣では徳川軍に従い、功績を立てました。
- 1619(元和5)年 29歳で園部藩主となり、河川改修や城下町の造成を行います。その時築いた堤は吉親の号をとって「意閑堤」と呼ばれています。
- 1668(寛文8)年 78歳の時、園部でその生涯を終えました。



園部藩の小出家の家紋には、「丸に額紋」、「亀甲に小の字紋」の2種類が見られます。これらの家紋は、文箱から屋根の瓦に至るまで広く使われていたことが絵図や史料などから見て取れます。

日本で最後にできた城

南丹市にも園部城と呼ばれる城があります。城の築造は初代吉親によって着手されましたが、櫓の建設は徳川幕府の許可が得られず陣屋として成立し、長い間「城」とは認められませんでした。

1864(元治元)年、幕末の世情不安の中、防備を固めるため櫓の新規築造を幕府に願い出ますがこの時は認められず、その後交渉を続け、1867(慶応3)年ついに内諾を得ます。しかし、その直後に大政奉還が行われたため正式な許可が出ず、翌年1月に改めて明治新政府に願い出て、園部陣屋はついに園部城へと生まれ変わりました。

当初より約250年後の10代英尚の時代になって城となったわけですが、藩の政治的な拠点としての役割は短く、わずか3年後の1871(明治4)年に廃城となりました。城としては明治時代に成立したことから、日本で最後にできた城と言われています。

こむぎ山山頂に建てられた天守に相当する三層の櫓は現存していませんが、現在でも櫓門、番所、巽櫓が京都府立園部高等学校の一



部として、太鼓櫓が八木町の安樂寺に移築され、当時の姿を見る事ができる貴重な文化財となっています。ぜひ園部城址パンフレットを見ながら、歴史散策されてみてはいかがでしょうか。



▲園部城址パンフレット

藩の終わりと新たな時代

1867(慶応3)年、大政奉還により徳川家は政権を朝廷に返上し、長く続いた江戸幕府はここに終わりを迎えます。翌年には新たな統治制度が実施され、地方は府藩県三治制となりました。

しかし、新体制を押し進める明治政府によって1871(明治4)年に廃藩置県が断行され、藩は廃止となり、10代英尚に東京への移

住が命じられます。これによって園部藩は終焉を迎え、新たに園部県となり、その後、現在の京都府となりました。

一方の園部城には、その後園部県庁(後に京都府園部支庁)が置かれましたが、1872(明治5)年に敷地が払い下げられ、政治機構としての役割を終えました。

城の中心部は小学校の校地となり、現在の京都府立園部高等学校へとつながる学校教育の場となっています。



▲櫓門周辺の様子(明治時代)

受け継ぎたい地域の文化

明治時代となって約150年がたち、近代化が進んで、私たちの暮らしは豊かで便利になりました。一方で、機械化や移り変わりの早い流行、過疎による地域のつながりの希薄化や簡素化により、歴史あるものへの価値、風習や祭礼、社寺などへの関心が薄れつつあります。

今を生きる私たちは、突然存在したわけではなく、両親、祖父母、さらにその上の何世代にもわたって命をつないできました。そのつながりの証明や活動の痕跡は、暮らしの中の住まいや食べること、話すこと、遊ぶことなど身の回りのあらゆるところに、文化や伝統として残されているのです。

そうして継承されてきた独自の文化や伝統、文化財はかけがえのない地域の資源であり、大きな強みです。

これからもこの貴重な伝統や文化を次世代に引き継いでいくためには、一人一人が魅力に気付き、関心を持つことが大切です。

立藩400年を契機として、南丹市内ではさまざまな取り組みが企画されています。ぜひ、講演会に足を運んだり、本物を見たりして、地域の歴史や文化に触れてみませんか。



▲藩校教育で使用された書物などを集めた小出文庫



▲町内を巡行する丹波祭り囃子の様子



園部藩

立藩四〇〇年



歴 代藩主・夫人像を市指定文化財に

教育委員会では、「園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画」の市の文化財指定に向けた準備をしています。

この肖像画は、小出氏の菩提寺である徳雲寺に伝来しているもので、8代を除く歴代藩主とその夫人がセットになって制作された類例が少ない大変貴重な文化財です。

また、作者についても幕府御用絵師であった狩野探幽かのうたんゆうやその一派の作品を示す銘があり、着物の柄、刀の装飾などにその緻密さを見ることができます。

秋 季特別展「園部藩の歴史と文化」

園部藩成立からの軌跡を回顧する展示会を開催します。

- ▶日時 10月19日(土)～12月8日(日)
午前9時～午後5時
- ▶内容 ギャラリートーク、「園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画」展示 ほか
- ▶場所 南丹市立文化博物館

展示会を通して南丹市周辺地域の歴史と文化を多くの方々に知っていただき、ふるさとに受け継がれてきた文化財の保存と活用について考えてみてはいかがでしょうか。

ぜひご来館ください。

な なんとんテレビ「もぎたてサタデー」

なんとんテレビ「もぎたてサタデー」の特集にて、立藩400年を紹介するコーナーを放送しています。

近年の資料調査内容や普段公開していない文化財、南丹市を飛び出して小出氏ゆかりの地の紹介などを映像を通してお伝えします。ぜひご覧ください。

- ▶放送 毎月最終土曜日～ 6回/日
- ※都合により放送日に変更になる場合があります。

行事やイベントの告知は市公式Facebookでもお知らせしますので、フォローをお願いします。



南丹市教育委員会 社会教育課
電話0771-68-0057



森の京都



森の京都「なんたん」
文化創生プロジェクト

概要

南丹市では「森の京都」推進計画を平成28年に策定し、「豊かな『森』を次世代につなぐまち『なんたん』」をテーマに、地域の豊かな自然や歴史、暮らし、文化遺産を観光資源として活用し、将来に引き継ぐための、各種施策に取り組んでいます。

こうしたなか、文化庁の地域文化財総合活用推進事業と観光拠点整備事業の採択を受け、「森の京都」構想や南丹市のマスタープランの具現化に向け動き出しました。地域の人々の生活や自然、文化、社会環境の発展過程を史的に研究し、これらを保存と育成、そして展示することによって、地域振興や観光・産業振興などに活用する、総合的な事業「森の京都『なんたん』エコミュージアム推進事業」を展開しています。

合言葉は、「南丹市全体が野外博物館 - 住民一人ひとりが学芸員 -」です。

なんたんカレッジ

「園部落のあゆみ」をテーマに文献や資料をはじめ、行事・祭礼・芸能・民話など、地域の歴史学を学び、語り部・案内人として活躍していただく方のための講座を開講しています。

また、地域の文化遺産に興味を持ち、保存継承に努めてもらう、一般市民対象の公開講座を開きます。公開講座は、文化博物館秋季特別展の開催期間中に、3回開講します。

●「園部落の歴史と文化」公開講座

- ▶日時 ①11月3日(日・祝)
②11月23日(土・祝)
③12月1日(日)
午後1時30分～3時30分
- ▶場所 ①②南丹市国際交流会館
③京都府立園部高等学校

なんたんデジタルミュージアム

園部落ゆかりの文化遺産をはじめ、政治機構や歴代藩主の功績、人々の暮らしをデジタル映像で制作し、ネットワークを活用して国内外に発信します。

園部落のあゆみ シンポジウム

園部落の城や城下町の歴史文化を振り返り、新たな文化や魅力の創造、次世代への伝承を目的に、歴史研究家を招いてシンポジウムを開催します。

- ▶日時 10月27日(日)
午後1時30分～午後4時
- ▶場所 南丹市国際交流会館

甞れ。生身天満宮祭礼絵巻

日本最古の生身天満宮に現存する祭礼絵巻には、総勢500人におよぶ豪華絢爛な神幸行列が描かれています。この神幸行列は、昭和30年ごろまでは200人規模で実施されていたようで、現在の神幸行列もその形を遺しながら受け継がれています。

当時を知る人も少なくなるなか、調査研究に基づき、この神幸行列を再現します。神輿みこしの巡行をはじめ、旧城下町で唯一現存する、丹波祭り囃子の屋台の巡行も計画しています。

- ▶日時 10月20日(日) 午前10時30分 巡行開始
- ▶場所 生身天満宮(園部町美園町) ～旧城下町(約4km)

森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会

【事務局】 南丹市園部町城南町宮ノ谷15番地 (公財)園部町振興公社 事務所内 電話0771-63-1800
【市役所担当】 南丹市魅力創生プロジェクト会議 事務局 農林商工部 観光交流室 電話0771-68-0050

新光悦村線 時刻表

園部駅方面

※土日祝運休 系統	2	4	3	※ 3	1	4	※ 4	※ 4
曾我谷	7:36				13:03			
道の駅京都新光悦村	7:41				13:08			
新堂口	7:44				13:11			
熊崎口	7:46				13:13			
瓜生野	7:47	発	発	発	13:14	発	発	発
新光悦村工業団地2	↓	8:45	10:25	11:20	↓	17:28	17:48	18:45
新光悦村工業団地1	↓	8:46	10:26	11:21	↓	17:29	17:49	18:46
曾我谷口	7:49	8:48	10:28	11:23	13:16	17:31	17:51	18:48
長生園前	7:50	↓	10:29	11:24	13:17	↓	↓	↓
上木崎町東	7:51	↓	10:30	11:25	13:18	↓	↓	↓
園部大橋	7:53	↓	10:32	11:27	13:20	↓	↓	↓
市役所前	7:54	↓	10:33	11:28	13:21	↓	↓	↓
図書館前	7:54	↓	10:33	11:28	13:21	↓	↓	↓
小桜町	7:55	↓	10:34	11:29	13:22	↓	↓	↓
城南町	7:56	↓	10:35	11:30	13:23	↓	↓	↓
栄町	7:57	↓	10:36	11:31	13:24	↓	↓	↓
小山西町	↓	↓	10:37	11:32	13:25	↓	↓	↓
大峠	↓	↓	10:39	11:34	13:27	↓	↓	↓
平成台	↓	↓	10:40	11:35	13:28	↓	↓	↓
木崎町	↓	8:49	↓	↓	↓	17:32	17:52	18:49
大学校前	7:58	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
園部駅西口	7:59	8:50	10:41	11:36	13:29	17:33	17:53	18:50

新光悦村工業団地・道の駅方面

※土日祝運休 系統	4	※ 4	4	3	※ 3	1	※ 1	※ 1	※ 1	※ 3
園部駅西口	7:25	8:00	8:35	10:00	10:50	12:31	14:36	15:01	16:01	18:13
木崎町	7:26	8:01	8:36	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
平成台	↓	↓	↓	10:01	10:51	12:32	14:37	15:02	16:02	18:14
大峠	↓	↓	↓	10:02	10:52	12:33	14:38	15:03	16:03	18:15
小山西町	↓	↓	↓	10:04	10:54	12:35	14:40	15:05	16:05	18:17
栄町	↓	↓	↓	10:05	10:55	12:36	14:41	15:06	16:06	18:18
城南町	↓	↓	↓	10:06	10:56	12:37	14:42	15:07	16:07	18:19
小桜町	↓	↓	↓	10:07	10:57	12:38	14:43	15:08	16:08	18:20
図書館前	↓	↓	↓	10:08	10:58	12:39	14:44	15:09	16:09	18:21
市役所前	↓	↓	↓	10:08	10:58	12:39	14:44	15:09	16:09	18:21
園部大橋	↓	↓	↓	10:09	10:59	12:40	14:45	15:10	16:10	18:22
上木崎町東	↓	↓	↓	10:11	11:01	12:42	14:47	15:12	16:12	18:24
長生園前	↓	↓	↓	10:12	11:02	12:43	14:48	15:13	16:13	18:25
曾我谷口	7:27	8:02	8:37	10:13	11:03	12:44	14:49	15:14	16:14	18:26
新光悦村工業団地1	7:29	8:04	8:39	10:15	11:05	↓	↓	↓	↓	18:28
新光悦村工業団地2	7:30	8:05	8:40	10:16	11:06	↓	↓	↓	↓	18:29
瓜生野	止	止	止	止	止	12:46	14:51	15:16	16:16	止
熊崎口						12:47	14:52	15:17	16:17	
新堂口						12:49	14:54	15:19	16:19	
道の駅京都新光悦村						12:52	14:57	15:22	16:22	
曾我谷						12:57	15:02	15:27	16:27	

問い合わせ先
地域振興課 交通対策係
Tel (0771) 68-0019
(有)中京交通
Tel (0771) 63-0521



【南丹市 ぐるりんバス】
平成17年4月より園部町内において地域路線コミュニティバスとして運行開始。地域住民の皆さまが、JR園部駅や各施設、住宅地などへ移動するための手段として、また中山間地域から主要バス路線へ接続するための手段として、南丹市から(有)中京交通へ委託し、運行を行っております。

行政 トピックス



美山町の地域医療を考える

—令和元年度

第1回南丹市医療対策審議会—

7月17日、南丹市の総合的な医療などのあり方について調査、審議する南丹市医療対策審議会が市役所で開催されました。会議では、存続が危ぶまれている美山診療所の運営を含め、美山町の医療の継続について検討が行われまし



▲美山診療所



▲諮問に際しあいさつする西村市長

た。会議には行政や医療機関、美山町で活動する市民団体など12人が参加。事務局からは、美山診療所の常勤医の後継者探しの現状や経営が難しい状況などが説明されました。委員からは「高齢者が多い美山地域の医療ニーズは高まっていく一方」「民間の診療所がないため、継続してほしい」などの意見が交わされました。審議会では今年度中の答申を目指しており、諮問に際して西村市長は「運営が大変厳しい状況だが、医師への負担を考え、美山診療所を直営化し、住民への安定した医療を提供していきたい」とあいさつしました。

市民の安全を第一に考える

—令和元年度

第1回南丹市防災会議—

6月10日、南丹市役所で令和元年度第1回南丹市防災会議が開催されました。

会議には西村市長をはじめ、消防団や関西電力、陸上自衛隊などが出席され、南丹市地域防災計画の見直しの説明や、意見交換を行いました。また、懸念される原子力災害対策や、近年多発している自然災害にかかる収容避難所に関する協議も行い、各機関から意見を出し合い、有事の際の連携を再確認しました。



▲防災に関する意見を出し合う各機関



▲現状の課題とその解決策を話し合う参加者

農業者と市職員が語り合う 南丹市の農業の課題と未来

—農業者等交流会—

6月27日、南丹市役所で農業者等交流会が開催されました。

市内の若手農業者や農業委員、市職員が参加し、日頃の農作業で苦労していることや、市内農業の課題などさまざまな問題点をあげました。また、問題の解決策や行政への要望などを話し合いました。作付けする土地や作物の違いにより、さまざまな視点から意見が出され、新しい発見や、新しい仲間との出会いの場となりました。

水道サービスの向上を目指す

― 亀岡市・南丹市水道水の

供給に関する基本協定―

6月27日、亀岡市の水道施設を利用し、水道用水を供給する事業について、令和3年度の実施に向けた基本協定の締結式を亀岡市役所で行いました。今回の締結により八木町の一部の地域に亀岡市千代川町の浄水場から水道用水が供給されることとなります。

西村市長は「水道の広域連携に合意いただいた亀岡市長や市議会、携わる職員の皆さまに感謝したい」とあいさつしました。



▲亀岡市の桂川市長(左)と西村市長(右)

地域農業の今後を見据えて

― 株式会社Ryo

口司ライスセンター完成式―

6月21日、農業法人の株式会社Ryoが園部町口司区にライスセンターを開設し、完成式が行われました。施設には、1日に約2haの米を乾燥処理する設備のほか、米粒をそろえる選別機などを備えており、また農家同士で米が混合しないことが特徴です。

式典で西田良弘代表は「地域農業を守り、今後の若手が農業できるように、環境づくりをしていきたい」とあいさつされました。



▲あいさつする西田代表

行政事務の効率化に向けて

― 行政事務の効率化及び生産性

向上に係る包括連携協定―

7月30日、行政事務の効率化や生産性向上を目的に、コニカミノルタ株式会社との包括連携協定を締結しました。同社は地方行政の課題に協働で取り組まれており、今回の協定締結により行政事務における効率化や情報通信技術の活用などを検討する取り組みが開始されることとなります。

締結に際し、西村市長は「行政サービスを低下させない、持続可能な市役所づくりを進めていきたい」とあいさつしました。



▲コニカミノルタ(株)の別府幹雄室長(左)と西村市長(右)

協力隊2期生の隊員が卒業

― 南丹市地域おこし協力隊

活動報告会―

7月13日、日吉町生涯学習センターで地域協力活動を行ってきた隊員が任期の3年間の活動を報告しました。

今回は、年内で卒業する2期生の佐田祥毅さん、太田彩美さん、村上直代さんの3人が、活動報告を行い、「その地域にとっては、ありふれたものであっても、市外では高く評価されるものがたくさん残っている。これからも、そういったものを市内外にアピールしていきたい」と話されました。



▲活動報告をする隊員

みんなで
国保を
考えよう
～健康で幸せで
あるために～

国保の現状

国民健康保険(国保)は、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう、加入者が国民健康保険税(国保税)を出し合い、お互いに支え合う制度です。

社会構造が変化し、制度発足時は農林業者や自営業者が多く加入されていましたが、現在は退職後に国保に加入される方や無職の方が多く、低所得者層や高齢者の割合が高くなっています。

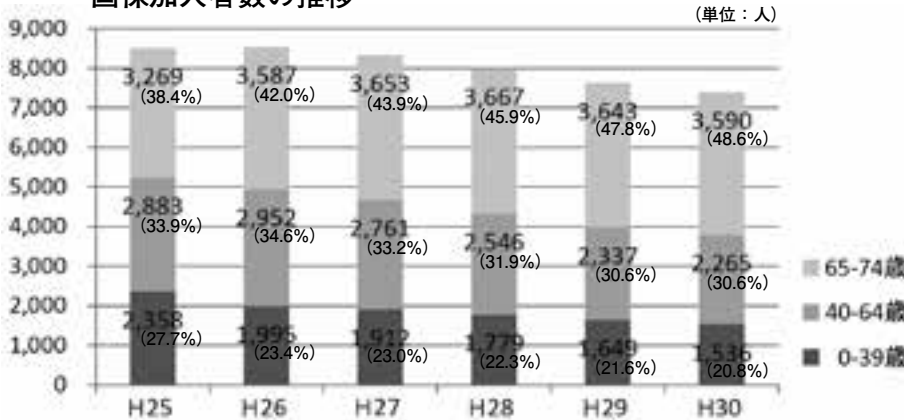
医療の高度化と加入者の高齢化により年々増え続ける一人当たりの医療費に反して、国保税の収入は減少していく中で、持続可能な保険の仕組みをつくるのが課題となっています。

平成30年4月に施行された国保制度改革では、国保への財政支援が拡充し、都道府県が財政運営の主体となったことで財政運営の強化が図られました。依然として国保財政は厳しい状況です。

国保の加入者数の減少と高齢化

平成31年3月末の国保の加入者は、南丹市の人口の23%にあたる約7400人ですが、年々減少の一途をたどっています。そのうち、65歳以上の前期高齢者の占める割合は約50%となっており、高齢化が進んでいる状況です。

国保加入者数の推移



医療費の状況と国保会計

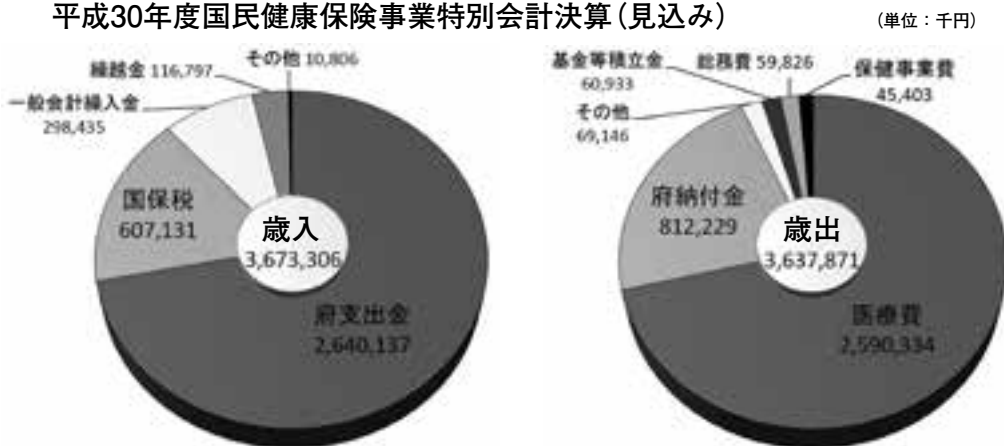
平成30年度の決算見込みは、会計全体で見ると、約3500万円の黒字収支となっていますが、繰越金や基金などを除いた単年度実質の会計収支は約2千万円の赤字となります。

基金の残高は平成18年度末には6億2千万円あり、これまでは基金を取り崩すことで国保税の上昇を抑えてきましたが、平成29年度末には9千万円まで減少し、基金に頼ることが難しくなってきたことから、平成30年度は保険税率を改定しました。

医療費の推移



平成30年度国民健康保険事業特別会計決算(見込み)



国保財政の健全化を図るためには、病気の予防、早期発見、早期治療により病気の重症化を予防することとあわせて医療費の適正化を図り、保健事業を充実することが重要です。

健康のため、医療費抑制のために

「一人一人ができること」

健診を受けましょう

「健診受けたらいいのはわかっているんだけど、なんだか面倒…」、「仕事休まないといけないし…」、「具合悪いところははないし大丈夫！」などの理由で、健診を受けていない方はいませんか？

生活習慣病は、気付かぬうちに進行していくことが多く、自覚症状が出るころにはかなり進んでいる場合があります。

健診を受けることで、早期に見、治療ができ、重症化を防ぐことができます。ご自身の医療費も抑制でき、国保税の上昇を抑えることにもつながります。

あなた自身の健康を守るためにも、大切な家族のためにも、一年に一回は、必ず健診を受けましょう！

かかりつけ医・かかりつけ薬局を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、普段の健康管理をしてくれる身近な医師のことです。日頃の診察のほかにも健康相談や指導も含め、いろいろな問題について気軽に相談できるため、体調を崩したときでも早めの対策ができます。

また、「かかりつけ薬局（いつもの薬局）」を持つと、複数の医療機関に通っている場合、一つの薬局でまとめて処方してもらうことができるので、重複投与や飲み合わせのトラブルを防ぐことができます。

はづい健診、コンビニ健診を控えましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診する「はづい健診」は、医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬により、かえって体に悪影響を与えてしまう心配があります。

また、「日中は用事があるから」、「夜間の方が空いているから」などの自己都合で、休日や夜間の救急の受け入れをしている医療機関を受診する「コンビニ健診」は、自己負担が割高になるだけでなく、重症患者の対応や入院中の患者の急変への対応が困難になるおそれがあります。

ジェネリック医薬品に切り替えましょう

医師が処方する薬には、新薬である先発医薬品のほかに、ジェネリック医薬品（後発医薬品）があり、新薬と同じ有効成分・効用があるのに、価格が比較的安価に設定されています。

ジェネリック医薬品で節約することはあなた自身の家計にとっても有効な取り組みです。

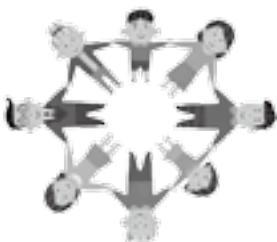
ジェネリック医薬品の利用が可能な場合には、医師や薬剤師と相談をして、積極的に活用しましょう。

健幸なまちを目指して

いかがでしょうか？健康のため、医療費抑制のために、あなたにもできることがきつとあるはずです。安心して医療を受けられるようにするためには、国保の安定した運営が必要です。一人一人が真剣に考え、できることから取り組みましょう！

南丹市では「なんたん健幸都市プロジェクト」により、歩くまち、市民協働による生涯現役で活躍できるまちづくりを進めています。日々の生活の中に「健幸（健康で幸せ）の視点」を意識して行動することで、より健康になるはずですよ。

市民の誰もが、住み続けることで健康で幸せになれるまちを目指しましょう。



問い合わせ先

市民環境課

Tel (0771) 68-0011

「予告」
健康・生きがい講座
「笑いヨガで心も体も健康になろう！」(仮称)
日時：11月16日(土)
午後予定
場所：日吉町生涯学習センター「遊youひよし」
主催：南丹市京丹波町国保研究協議会
※詳しくは後日配布のチラシをご覧ください。

活躍する南丹市の人びと

市民の皆さんが活躍する南丹市に――。

このコーナーでは、まちづくりにおけるさまざまな分野で活躍される市民の皆さんを紹介します。

全日本学生柔道優勝大会 女子3人制優勝

明治国際医療大学 女子柔道部

6月22日、全日本学生柔道連盟が主催する「2019年度全日本学生柔道優勝大会(男子68回、女子28回)」が日本武道館(東京都千代田区)で開催され、1部女子団体戦3人制(体重無差別)に出場された明治国際医療大学女子柔道部が念願の初優勝を果たしました。



▲大会出場メンバーの皆さんらと記念撮影

明治国際医療大学女子柔道部は平成29年度に創部され、僅か3年目ながらも前々回の同大会ではベスト8、前回は準優勝と、次々に成長し成績を伸ばされてきました。そして今大会でも全国の強豪校を相手に勝ち進み、頂点に立ちました。

7月1日には西村市長へ優勝報告のために来庁されました。主将を務める刈谷美咲さんは「前はあと一歩のところまで悔しい思いをした。皆で日々の練習に取り組み、皆で日本一になれたことがうれしい」と振り返りました。



▲西村市長へ報告される様子

インフォメーション

南丹市公式LINEを始めました

友だち登録をよろしくお願いします

南丹市では、公式LINEを8月に開設しました。イベント情報や市政情報などを発信しています。

お気軽に友だち登録をしていただき、各種情報をチェックしてみてください。また、家族の方やお友達の皆さんにも教えてあげてください。

■登録方法

- ①「ID検索」の場合は「nantan.line」を入力し検索してください
- ②「友だち検索」の場合は「公式アカウント」から「南丹市」を検索してください
- ③QRコードリーダーの場合は、左のQRコードを読み取ってください



利用の際の注意事項

- ・トークでの返信はできません
- ・背景やボタンなどの仕様変更を予告なく行う場合があります
- ・掲載する情報は細心の注意を払っていますが、必ず正確性を保証するものではありません
- ・「こんな情報が欲しい」など、ご要望がありましたら、市ホームページ「南丹市政へのご意見箱」をお願いします



問い合わせ先 秘書広報課
Tel (0771) 68-0065

南丹の景観ちょっと情報

景観の小窓



第30景



美山町 桜原区
大野ダム

【美山町^{かしはら} 大野ダム】

大野ダムは美山町の西端に位置する、高さ61.4mのダムです。治水と発電の目的で昭和36(1961)年に京都府で最初の多目的ダムとして完成しました。

大野ダムの完成以後、周辺は多目的広場や散策路が整備され、1,000本を超える桜や500本を超える紅葉が彩るダム湖は「虹の湖」と称され、「ダム湖百選」にも選ばれています。

春には「さくら祭り」、秋には「もみじ祭り」が開催され、地元住民だけでなく多くの観光客がこの場所を訪れ、美しい景観を楽しめます。



大野ダムの遠景



虹の湖



ダム公園の散策路

《美山町 大野ダム》

大野ダムの桜や紅葉の樹は、地域の住民たちが中心となって植えられたものです。気温が下がる11月には、ダム湖周辺の山々の紅葉と共に色付きだし、周囲一帯が見事に染め上げられます。この時期に開催される「大野ダムもみじ祭り」についても、地元の方たちの手で運営されており、大野ダムや周辺を彩る紅葉のグラデーション、地域の特産品を使った「ふるまい大鍋」や露店などを求め、多くの方が大野ダムに訪れます。

★南丹市HPで、バックナンバーのカラー版も掲載しております!★

URL : https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/kurashi/101/009/007/index_46247.html

届出対象行為は、工事
着工の30日前までに
届け出を!

美山町地域で、建築物の建築や工作物の建設、土地の形質変更、土石等の盛土を行う場合には、着工する30日前までに市への届け出が必要です。届出対象行為は、市ホームページなどに掲載していますので、ご確認ください。

また、行おうとする行為が届け出の対象になるかなど、ご不明な点や景観計画に関することは、地域振興課または美山支所総務課までご相談ください。
市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

地域振興課

Tel(0771)68-0019

美山支所総務課

Tel(0771)68-0040

協働のキャンバス

南丹市市民提案型

まちづくり

活動支援

交付金とは

私たちが暮らす社会では、現在人口減少や少子高齢化などに加えさまざまな課題が発生しています。

そうしたなか、平成22年度から、まちの課題の解決を目指す市民団体が提案された事業に対して、20万円を上限に助成金を交付し、活動を応援しています。

事業をされる団体は、年一回、最大三回まで交付が受けられ、課題の解決と併せて、運営ノウハウをはじめとした組織力を高め、自立へのステップアップを図ります。

昨年度は交付金を活用して地域の環境保全や伝統文化の継承などをテーマに事業が実施されました。

今年度の支援事業を

紹介します



今年度は29件の事業を支援し、その内13件が新規事業でした。

今回は各事業の概要について、紹介します。

【新】…新規・【継】…継続

○交付対象事業

〈課題設定型事業〉

市が設定したテーマに基づき市民団体が提案実施する事業

〈自由提案型事業〉

市民が課題とする社会的・地域的課題の解決に向け実施する事業

課題設定型事業

【新】まちカフェモーニングプロジェクト

課題…高齢者への介護予防活動の取り組み
月に一度、地域の高齢者向けにカフェを開催。楽しいコミュニケーションの場にするとともに、健康体操の時間やさまざまな講座により、高齢者が生き生きと過ごせるようにし、地域に活気をもたらす。
提案者…まちカフェモーニングの会

【継】市民の介護予防・認知症予防による

フレイル予防

課題…高齢者への介護予防活動の取り組み
一人暮らしの高齢者が増加する中、介護予防として脳トレ教室を開催。認知症を予防するとともに、高齢者の孤立解消や認知症に対する理解を広め、住みよいまちを目指す。
提案者…脳トレネット

【新】又林集落でふれあい農作業体験

課題…将来の地域ビジョンづくり

都市部から農作業体験の参加者を募集。農作業を体験することで、参加者の農業への関心を高め、併せて実際に集落に来てもらうことで集落へのつながりを深め、定住促進を目指す。

提案者…又林農事組合

自由提案型事業

【継】「丹波猿楽 梅若家」プロジェクト

地域の過疎化が進むなか、住民に丹波猿楽梅若家の発祥の地であることを再認識してもらおうことで、「梅若ゆかりの地」として地域ブランドを高め、地域に元気と自信を取り戻す。

提案者：世木の伝統芸能を守る会

【継】志和賀区まちづくりプロジェクト

区民の意識を高めるために、区内のゴミ収集により地域の環境美化に努めるほか、伝統の丹波音頭・文七踊りを定着させる。各種の地域文化活動を通じて、高齢化する地域を活性化する。

提案者：志和賀区

【継】村づくり体験ツーリズム2

地域内の耕作放棄地の開墾や、不法投棄されたゴミの片付けなどを、SNSなどを活用し、地域外の人呼び込みながら実施することで、村づくりに必要不可欠な人材を外から取り入れる。

提案者：村づくり体験ツーリズム研究会

【新】南丹・瓢丹・無病丹で、南丹市の街お越しをするプロジェクト

高齢者が生きがいと希望を持って住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、地域の高齢者を中心にヒョウタンの加工を行う。併せて、ヒョウタンを栽培することで緑のカーテンによる環境への配慮も図る。

提案者：南丹・瓢丹・愛丹会

【継】季節限定型交流コンテツ開発事業

季節限定の地域資源であるホタルを活用し、宿泊事業者と連携して新たな交流コンテツを開発することで、交流事業で得られる成果(知名度アップ・活動人材の確保など)をさまざまな地域づくり活動に循環させる。

提案者：洞区

【新】生涯スポーツ推進プロジェクト

グラウンド・ゴルフの大会や練習会を通して、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形でのスポーツとの関わりを創出し、生涯スポーツの参加者人口の拡大を図る。

提案者：美山町グラウンド・ゴルフ協会

【継】「下・歴史と絆再発見プロジェクト」

集落美化活動、歴史文化の継承事業、盆踊り大会の実施を通して、集落で暮らす誰もが自信と誇りを持って、いつまでも生きがいのある暮らしが持続できるような里づくりをする。

提案者：下区

【新】八木町の宝探しによる町おこし

外部講師を招き、八木町の魅力を見つめ直すきっかけとし、住民自らが町にある宝と呼べる財産を見つけ、誇りと希望を醸成していくことにより、町の活性化を図る。

提案者：八木町市民フォーラム

【継】田舎の暮らしを楽しもうプロジェクト

日置区公民館を活用したカフェを月に1回実施し、子どもから高齢者まで集い交流できる場づくりに取り組むとともに、世代間交流やツリーハウスなどの遊び場づくりを通して、地域住民のつながりを深める。

提案者：田舎の暮らしを楽しもう会

【新】山から人の流れを生み出す

プロジェクト

音谷の滝周辺と洞峠の古道を整備し、遊歩道の安全性確保と利用者のレベル・ニーズに応じた多様なコース設定を行い、地域内外からの人の流れを生み出し、地域の活性化を図る。

提案者・洞志会

【新】埴生のシンボル復活プロジェクト事業

地域のシンボルである城山の城址を見渡せるよう地域住民と周辺住民が一体となり周辺森林を整備し、子ども会とタイアップしながら登山計画を企画することにより、地域住民の関心や誇りを取り戻す。

提案者・埴生のシンボル復活プロジェクト

【継】地域活性化農業者支援事業

産官学公連携により農業者が栽培した多品目少量栽培のカラフル野菜の販売促進を重点的に行い、農民生産者の高齢化、担い手不足の進行に歯止めをかける取り組みを地域で一体的に行う。

提案者・ふらっと美山 生産者の会

【継】「南丹市地域魅力創造写真公募展」

若手作家を対象にした公募型フォトブックを展示する展覧会を開催し、南丹市の魅力的な風景を写真愛好家にPRすることで、市外から人呼び込み、南丹市の認知度を向上させ、地域の魅力を全国に情報発信する。

提案者・ワタリドリ写真部

【継】0歳からはじめる親子のふれあい事業

幼少期からの絵本に対する関心を高め、読書基盤の定着を目指すために、0〜2歳児とその保護者向けに絵本の読み聞かせと紹介をし、親子の絵本活動の記録を残すための「絵本手帳」を配布する。

提案者・そのべ読み語りクラブ

【新】「ニンニク」プロジェクト

地域住民間の交流を絶やさないよう、不耕作地を利用してニンニク栽培に取り組み、収穫したニンニクを使った料理教室や勉強会を通じて、住民同士の結び付きを強固にする。

提案者・新シ活性化委員会

【新】住んで良かった地域づくり

「次の世代に引継ぐ」

豊かな地域を目指して

住民同士のつながりを強めていくための「男の料理教室」や地域の伝統文化を次世代につなげるための「金刀比羅神社音楽祭」などを開催し、「住んで良かったと思える地域づくり」を目指す。

提案者・西田塾

【継】中世木活性化事業

少子高齢化が著しく進行するなか、定住人口の現状維持以上を目指し、イベント、伝統行事を開催。また、故郷のよき伝統文化について、継承、記録、情報発信を目的に、図版、写真などを取り入れ、分かりやすい冊子を作成する。

提案者・中世木区

【新】八木駅舎を愛する人の会

解体が予定されている八木駅舎をしのんで、駅舎の前で記念写真撮影や八木中学校吹奏楽部の演奏、八木音頭保存会による踊りを実施。八木駅舎を中心としたまちの認知度を上げ、地域内外に発信し、都市との交流を図る。

提案者・八木駅舎を愛する人の会

【継】ヨイゾエホンマニ八木音頭☆繋げて

販わうまちづくりPART・2

高齢化が進み、文化の継承が途切れるなかで、八木音頭を次世代につなげていけるよう、近隣の小中学校や放課後児童クラブへの指導を実施するとともに、イベント開催で住民のつながりを深め、交流の場をつくる。

提案者・八木音頭保存振興会

【継】子ども食堂c o i n aプロジェクト

子ども食堂を運営する上で、農作物が近くにありながら、子どもたちが直接農作物に触れることがないという実態が見えたため、安心して食することのできる身近な農作物を自ら加工して食する体験会を行う。

提案者・C o c o c a n

【新】南地区活性化プロジェクト

魅力あるまちづくりを目指して

「住んでみたい」「住んで良かった」と思える魅力的な地域づくりを目指して歴史勉強会とコンサートを開催。イベントに訪れた人が地域を知るとともに、開催を通して地域住民の一体感を生み出すことを目指す。

提案者・八木町「南地区大堰塾」

【継】しょうがプロジェクト八木

「ショウガ」は健康食品としての需要も高く、料理の薬味としても欠かせない作物であるが、京都での生産は少ないため、「ショウガ」の普及のための学習会開催や、販売先の開拓をすることで特産化を目指す。

提案者・しょうがプロジェクト八木

【新】「安らぎのある充実した地域」

不耕作地での黒豆栽培や農業体験会、集落内散策などを実施。集落内や都市住民との交流を深めることで、安らぎのある充実した村づくりを目指す。

提案者・千妻活性化事業組合

【継】調味料の自給自足をめざした

醤油づくりワークショップ

南丹市は都市部と比較すると食糧自給率の高い地域ではあるが、加工品の地産地消費は低いため、身近な醤油について知識を広げ、実際に作ることでより食の安心安全に対する関心を高め、手作りすることの楽しさを知る機会をつくる。

提案者・食と暮らしの研究会

【新】ある日ある時、

鶴ヶ岡体験ツアープロジェクト

都市農村交流やエコツーリズムなどの事業に提供できるコンテンツとして、鶴ヶ岡地域の里山資源を活用した小規模なモデルツアー(夏仕事・夏遊び体験、木こり体験)を実施する。

提案者・鶴ヶ岡小学校活用室

【継】匠の技が息づく

ふるさと憧憬プロジェクト

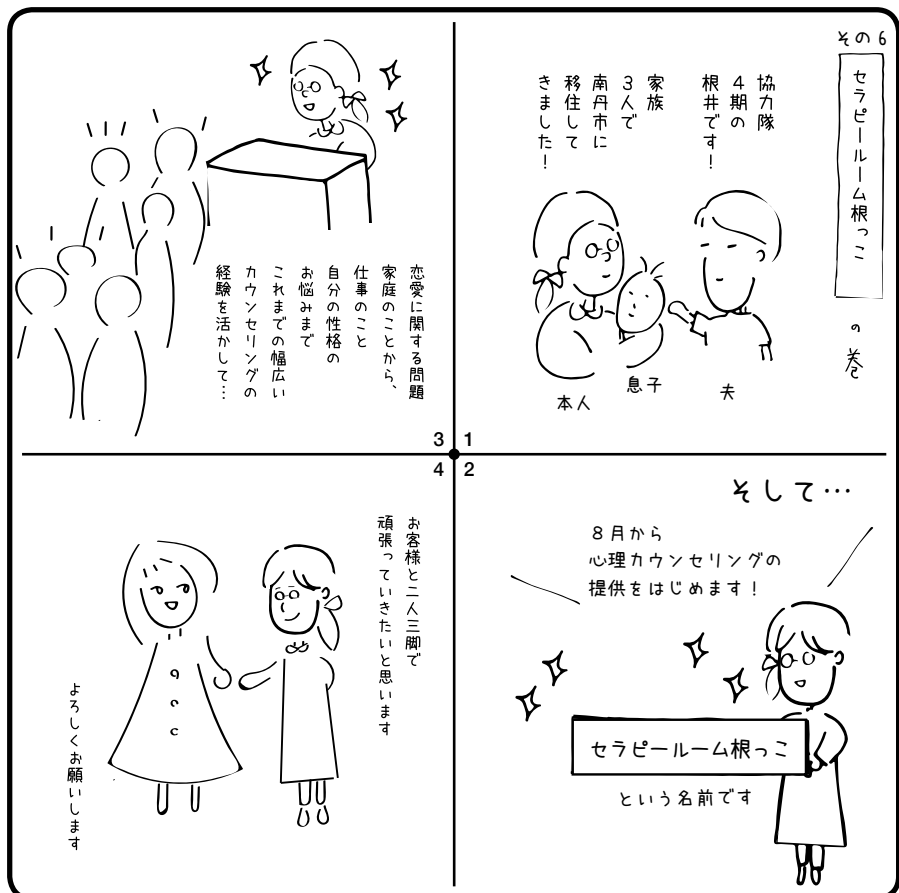
鶴ヶ岡地域には、しめ縄や栃もちといった伝統工芸品・伝統食の生産グループが複数あるが、メンバーの高齢化が進み後継者不足が課題となっているため、体験教室を開催し、地域住民のみならず都市住民にも技術継承を行う。

提案者・棚野会



よんコマなんたん協力隊

その6



イラスト・村上隊員

◎『南丹辞典』収録の南丹を知る言葉

けいとら【軽トラ】

車が日常の足となる南丹市(特に北部)では、一家に運転できる人数分の車があり、農業や狩猟をする家ではプラス軽トラが配備される。一見同じに見える軽トラの種類のスペックがある。

◎協力隊ニュース

7月末で村上、太田隊員が任期を満了しました。9月からは5期生となる吉田隊員が加わり、南丹市を盛り上げるため、新たな布陣で活動をしていきます。

問い合わせ先・南丹市地域振興課
TEL(0771)6810019

福祉とわたし³⁶ <<<for our happiness>>>

福祉は、私たち一人ひとりが幸せに暮らすためにあります。

「認知症と共に誰もが安心して暮らせる南丹市に」
南丹市徘徊SOSネットワーク「つながろう南丹ネット」

「つながろう南丹ネット」は、ひとり歩きの恐れがある方に、お名前や写真などを市役所に事前登録していただき、行方が分からなくなったときには、協力機関にFAXで情報提供をして、早くご家族の元に帰っていただけるようにするネットワークです。

市役所・警察署・消防署・地域包括支援センターなどが連携し、認知症の方やそのご家族が安心・安全に暮らしていただけることを目指しています。



市内130の事業所に協力機関登録をしていただいています

本年度よりこの事業に登録されている方に対し、GPS(衛星利用測位システム)を活用した機械を利用するための初期費用などの一部を助成する事業を開始しました。



詳しくは、市役所高齢福祉課またはお近くの地域包括支援センターまでお問い合わせください。

- 問い合わせ先
- 高齢福祉課
TEL(0771)6810006
 - 地域包括支援センター
 - 園部事務所 TEL68-3150
 - 八木事務所 TEL43-0551
 - 日吉事務所 TEL72-0214
 - 美山事務所 TEL75-1006

食は、

ひびひり、まぢびり



-37-

日吉中央保育所の取り組み 〜5歳児カレークッキング〜

南丹市の保育所・幼児学園では、5歳児を中心に年に数回クッキングを行っています。

日吉中央保育所の5歳児きりん組が「自分たちで育てた野菜を使ってカレー作りを楽しむ」という狙いの下、カレー作りに取り組みました。その様子をご紹介します。

育てた旬の野菜をたっぷりと

日吉中央保育所の畑では、1年を通して季節の野菜を育てています。春から夏にかけてはタマネギ、ジャガイモ、トマト、ピーマン、ナスなど、さまざまな野菜を収穫することができました。これらの野菜をたっぷり使って、カレーを作りま



▲作り方の説明を聞いている様子

自分たちで作ってみよう！

子どもたちは、野菜を洗い、ピーラーで皮をむいたり、包丁で切る作業に挑戦しました。

ジャガイモの皮むきでは、デコボコした形に大苦戦。「目が痛くて、涙が出てきた！」と言いなながら、タマネギの皮をむいたり、おいしいカレーを作るために力を合わせて頑張りました。また、包丁を使うときは、手を切らないよう

に慎重に集中して野菜を切る姿が見られました。



▼クッキングの様子



おいしいカレーをいただきます

できあがったカレーを見て、子どもたちは大興奮でした。「私らが作ったカレーやー！」「おいしいー！」と言いなながら、皆でおいしくいただきました。

普段野菜が苦手な子どもたちも皮むきや切る作業に関わり、「自分たちが作った」という自信につながり、残さず完食できました。



▲カレーを食べている様子

食を営む力

子どもの頃の「食の体験」は、大人になってからの「食を営む力」につながります。クッキングは、旬の野菜の香りや色、感触に気付いたり、調理器具を使うことにより、料理の楽しさや食べる意欲にも結び付く大切な取り組みです。

今後、子どもたちには楽しい「食の体験」ができるよう、保育所・幼児学園でもさまざまな取り組みを行ってまいります。

毎月19日は「食育の日」

南丹市では、健やかで健康に暮らせるまぢびりを進めています。一人一人が正しい食習慣を身に付けることで、まぢ全体の健康につながるため、毎月19日の「食育の日」に合わせて、CATV文字放送のぼりを使ってさまざまな啓発を行っています。

お子さんからお年寄りまで、全ての市民の皆さんに取り組んでいただけるよう「しっかり食べよう朝ごはん！早起き・歯みがき習慣」と「毎日食べよう！野菜・果物・豆類！減塩で家族の健康を守ろう！」の2つをポイントにしています。ぜひ、毎月19日はご自身の食生活を見直す日にしてください。



▲食育のぼり

問い合わせ先

南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)

TEL(0771)68-0016

いぎいぎ南丹

-93-

あ・い・う・べ体操で

おとなも子どもも健康に

お元気ですか？
保健師です。



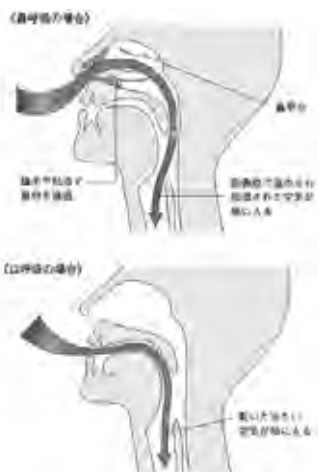
皆さん、「あいうべ体操」って聞いたことがありますか？「あいうべ」じゃなくて「あいうべ」ってちよつと変ですよ。

あいうべ体操とは、免疫力を高めて病気を治す治療で著名な今井一彰先生が考案した、口呼吸を鼻呼吸に改善していく口の体操です。

鼻呼吸ができるようになると、口内が潤い、唾液による洗浄や殺菌、消毒作用が向上します。それにより、虫歯や歯肉炎の予防・改善、アレルギー疾患の症状改善、インフルエンザなどの感染症予防のほか、さまざまな健康効果があるといわれています。

なぜ鼻呼吸が良いのか？

そもそも、口とは食べるための器官で、鼻は呼吸するための器官です。ところが、人間は「しゃべる」ことができるようになったた



め「口呼吸になりやすい動物」といえます。

呼吸器官である鼻には、鼻毛や線毛といった防御機能があり、花粉やチリなどを効果的に除去し、また、加湿・加温能力があり、冷たくて乾燥した空気でも、体にとって害のないきれいな空気にして肺に送り込んでくれます。一方、口呼吸の場合は、鼻呼吸のような機能がないため、汚れたままの空気が肺に送られてしまうのです。

呼吸は一日に2万回とされています。これを正しい鼻から行うのか、間違つて口から行うのか、あなたの健康度合いが変わってくるのです。

あなたは口呼吸？

口呼吸のチェックリスト

- いつも口を開けている
- 口を閉じると、あごに梅干し状のふくらみとシワができる
- 食べる時にクチャクチャと音をたてる
- 起床時に喉がヒリヒリする
- 歯のかみ合わせが悪い
- 舌がよく動く
- イビキや歯ぎしりがある
- 口唇が強い
- タバコを吸っている
- 激しいスポーツをしている

右のリストでチェックがあった方は要注意。さっそく「あいうべ体操」を始めましょう。

呼吸改善 あいうべ体操

「あいうべ体操」は文字通り「あ・い・う・べ」と口の動作を繰り返す体操です。

ポイントは、大げさなくらい口を大きく動かすこと、下図の①②③④までを4〜5秒かけてゆっくり行つてください。最初は少しずつ、上手くできるようになったら数を増やしましょう。

「あいうべ体操」はいつ、どこで行つても構いませんが、特にお勧めは入浴時です。

「あいうべ体操」のやり方

次の4つ動作を順に繰り返します。

1回5秒 1分10回

①「あー」と口を大きく開く
②「いー」と舌を大きく前に出す
③「うー」と舌を強く前に突き出す
④「べー」と舌を突き出して下に押し出す

あいうべを1セットとし、1日30セットを目安に毎日続けましょう！

まずは30日間続けてみてください。きつと何らかの効果が実感できるはずですよ。

動画共有サービス「ユーチューブ」などで、楽しくできる動画もたくさんアップされていますので、参考してみてください。

大人も子どもも「あいうべ体操」 鼻呼吸で健康に！

問い合わせ先 保健医療課
TEL(0771)68-0016

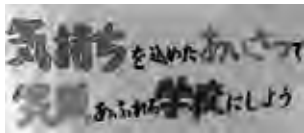
「気持ちを込めたあいさつ」

園

部小学校では毎年秋に人権月間の取り組みを行っています。

昨年の人権月間では、「人をさらに大切に作る園部小学校にするために、人権月間を『自分も周りの人も大切にするとはどういうことなのか』をじっくり考える期間にした」と児童会の本部役員

は考えました。そして、「気持ちを込めたあいさつで 笑顔あふれる学校にしよう」という人権月間のテーマを掲げました。本部役員の児童は、「あいさつには『思いや気持ち』を込めることが大切です。そんなことを考えたことがない人もいいかもしれないけど、この人権月間をきっかけにして、あいさつをするときの気持ちについて考えてみてくださ」と全校児童に投げ掛けました。



正

面玄関に設置された「あいさつポスト」には、たくさんのかードが寄せられ、給食時間に校内放送で紹介されました。「おはよう」のあいさつに「今日も一日一緒にがんばろう」という気持ち

を込めている子、「さようなら」のあいさつに「明日も一緒にがんばろう」という気持ちを込めている子、「ありがとう」と言われて「また手伝ってあげたいな」と思った子、「ごめんね」と言われて「仲直りして、また仲良く遊ぼうね」と思った子など、一つ一つのあいさつに気持ちが込めると、相手にもその気持ちが伝わり、心が温かくなるのが良く分かるカードばかりでした。

こ

の児童会の活動は、あいさつを促したものではなく、あいさつをするときの気持ちを考え、その気持ちを広めることで、相手の気持ちに気付き、人間関係を育てようとする取り組みとなりました。

園

部小学校では、児童が自己有用感を高め合えるような関係を育て、自他の良さを認め合い尊重し合う態度を育成したいと考えています。そのためには、一人一人の児童を徹底して大切に作る仲間づくりや、児童が共に高め合う日常的な人間関係づくりを今後進めていきたいと思えます。

(園部小学校 人権教育主任

谷口 英太)

ふ・れ・あ・い



—第38回—

高齢者とDVについて

DV(ドメスティック・バイオレンス)と聞くと、多くの方が被害者は30歳代や40歳代の女性が身体的な暴力を受けている、またはモラルハラメントにより精神的に追い詰められているというイメージを持っておられるのではないのでしょうか。

たしかにDV相談の割合では30歳代・40歳代が全体の約半数です。しかし、DVは年齢に関係なく起きる問題で、件数は多くありませんが65歳以上の高齢者の相談もあり、他の年齢層と同様に増加傾向にあります。

高齢者のDV被害者は、住み慣れた家や地域から離れることへの不安、健康面や経済面での不安を抱える方が多く、また子どもたちの考え方

や世間体を気にして相談すること自体をためらわれるなど、現状を変えることは容易ではありません。このため相談機関では、被害者のそれぞれの人生や思いに寄り添い、状況に沿った相談支援を心がけています。

今後、高齢化が進む中、高齢者からのDV相談はさらに増えることが推測されます。年齢に関係なく、被害を受けておられる方は、信頼できる周囲の人や相談機関にぜひご相談してください。

(人権政策課)

DVに関する主な相談機関(相談無料)

- 南丹市人権政策課 女性相談【面接】
(第2・4水曜 午後1時から3時まで)
※要事前予約 Tel(0771)-68-0015
- 京都府警 総合相談室【電話・面接】
(月～金 午前9時から午後5時45分まで)
※Tel(075)414-0110 または #9110
- 京都府家庭支援総合センター【電話】
(毎日 午前9時から午後8時まで)
※Tel(075)531-9910



「園部藩 立藩400年」

お城の本を置いていきます

城ブームが後押しし、「日本の城」や「山城」といった城関連の本がたくさん出版されています。園部藩は1619年、但馬国出石藩主であった小出吉親が丹波国園部へ転封となったことにより成立しました。現在でも園部城跡に立地する園部高等学校には異櫓・番所・櫓門が、八木町の

安楽寺には太鼓櫓が残り、当時の面影をしのぶことができます。これにあわせて中央図書館では、お城などの関連書籍を取り上げて展示しますので、ぜひご来館いただき、「立藩400年」の記念イベントも楽しみください。

新刊紹介

『世界遺産登録へ！』

百舌鳥・古市古墳群のすべて

発行：洋泉社



世界遺産登録が決定した百舌鳥・古市古墳群(大阪府)。世界最大級の仁徳天皇陵をはじめ、残っている多くの古墳についての見どころの他、街を楽しむためのエリアマップも付いています。

『日本100名城のひみつ』

著者：萩原 さちこ
監修：日本城郭協会
発行：小学館



小学生向けの城の入門書です。城の歴史から特徴などが分かりやすく解説され、北海道から沖縄まで現存する100名城について取り上げています。

暮らしと



—第63回—
消費生活情報
「東京オリンピックの
便乗詐欺」に注意

東京オリンピックに便乗した詐欺の電話やSMSに注意

(独)国民生活センター
見守り新鮮情報
第261号より

事例1 オリンピック関連の団体を名乗る男性から「東京オリンピックの入場券を300万円申込みましたね」と電話があった。「頼んでいない」と答えたと「同様の被害にあった人が他にもいる。調査するつもりだがどうするか」と聞かれ、「お願いします」と個人情報を伝えてしまった。その後も「銀行の犯罪グループのリストに名前が載っている」「警察には相談しないように」などと何度も電話があり、弁護士という人物からは「口座を差し押さえられてしまうので手を打たないと大変だ。銀行名を教えなさい」と言われ、銀行名を伝えてしまった。(70歳代女性)

ひごと助言

●話を聞いてしまうと、個人情報を知りすぎたり、金銭を要

求されたりする場合があります。不審な電話はすぐに切り、絶対に応じないようにしましょう。

事例2 スマホに「東京オリンピックのチケット抽選券配布」というメッセージが届いた。「あなたのアカウントに配布された」とあり、指定のURLを開くと個人情報を入力する画面が出てきた。不審だ。(60歳代男性)



ひごと助言

●個人情報盗む「フィッシング詐欺」として良く使われる手段です。

●むやみにURLをタップしないようにしましょう。

●不審な電話があったら、すぐに警察相談専用電話(9110)や左記窓口にお気軽にご相談ください。

消費者ホットライン
TEL 188(いややー)
南丹市消費生活相談窓口
TEL (0771) 68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時～午後4時
京丹波町消費生活相談窓口
TEL (0771) 82-3803
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)



音楽で笑顔をつくる
〜サクソ演奏グループ「クレージーモンキーズ」〜

サクソ演奏グループ「クレージーモンキーズ」は平成20年5月から活動をされています。同級生の3人がクラス会の余興でサクソの演奏を披露したことがグループ発足のきっかけとなったそうです。そして、そのクラスは申年生まれが中心だったことから「クレージーモンキーズ」と名付けられました。

現在は男性5人と女性1人で活動されており、毎週土曜日に、旧摩気小学校の一室を借りて、練習をされています。

また、福祉施設、夏祭りなどのイベントなどで年間20回ほど演奏をしておられます。

メンバーの全員がサクソ未経験者だったとのことで、吹けるようになるために、お互いに教えあ

練習の様子(7/27)



個人練習で演奏技術を身につけます



メンバーと合せ、本番に向けた練習をします

一緒に音楽を楽しみませんか

「クレージーモンキーズ」は福祉施設やイベントなどでサクソ演奏をしています。

演奏を聴いてもらいながら、時には歌ってもらいながら、皆さんと一緒に音楽を楽しみたいと思っています。

依頼がありましたら出向きますので、興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会園部事務所
TEL : (0771)62-4125



▲令和元年記念コンサートで演奏する様子

は話されました。

また、メンバーは「自分たちの演奏を楽しんでもらえることが何よりの喜び」「皆さんの笑顔を見ることが、むしろこちらが元気をもらっている」など、活動を通しての喜びを語られました。年代に合わせた選曲をすることで、聴いてもらうだけでなく、歌って参加してもらえそうな工夫を凝らすなど、聴いていただく人に満足してもらえようように常に試行錯誤を繰り返されています。

いながら猛練習をしたそうです。また、個人練習をする場所にも苦労するようで、近所迷惑にならないように屋外で練習をすることもありますが、苦にはならない」とメンバー

「音楽を通して人と人のつながりを増やし、多くの人と一緒に音楽を楽しみたい」と代表の山本さんは話されます。今後も、サクソ演奏グループ「クレージーモンキーズ」の活動がたくさんの人を笑顔に変えていくことでしょう。

宝くじの社会貢献広報事業として、受託事業収入を財源に実施されているコミュニティ助成事業を活用し、美山町平屋振興会が備品を整備されました。

購入されたのはアルミ製ステージで、購入費用に宝くじの助成金を充てられました。

地域の個性を生かした「日本一の田舎づくり」を目指されている平屋振興会は、ふれあい夏まつりや美山ふれあいマルシェなど年間を通してイベントを開催されており、ステージを活用して、地域の活性化や都市間交流に貢献できるイベントに発展させたいと意気込んでおられました。



▲購入されたステージ

「宝くじの力で地域活性化を目指す」

(コミュニティ助成事業)



▲隣の方と手を引っ張り合う運動をする参加者ら

8月7日、国際交流会館で健幸アンバサダー養成講座を開催しました。健幸アンバサダーとは、健康に関する正しい知識や運動の方法を身近にいる大切な人に広めていく健康づくりの伝道師のことで、国民の約7割といわれる健康づくり無関心層を対象に情報を広げる全国的な取り組みです。

講座には筑波大学大学院教授の久野譜也さんと管理栄養士の塚本珠代さんを講師に招き、役割や伝え方、簡単な運動の実演などが行われました。今回の講座で健幸アンバサダーになられた皆さんには、今後も各所でご活躍いただきます。



▲講演を行う久野さん

「いつまでも、健康で元気に幸せに」

(8/7 健幸アンバサダー養成講座)

「自然を守り育て、観光にもつなげる」



▲「天狗岩のヒノキ」を眺める参加者

7/23 天上の木10選「天狗岩のヒノキ」登山道整備お披露目会

7月23日、京都府立るり溪自然公園内にある掃雲峰(天狗岩)への登山道の整備が完成し、そのお披露目会が開催されました。山頂にある天狗岩は、戦前には雨乞いの儀式が行われてきた場所で、平成28年には岩の間から力強く生えているヒノキが森の京都「天上の木10選」に選ばれました。この木を守ろうと、るり溪観光協会や地元区が登山道を整備されました。

参加者は「大変上りやすく整備いただいており、頂上からの景色も最高だ」と高く評価していました。



▲市のまちづくりについて講義する西村市長

「学生と魅力あふれるまちを考える」

7/13 園部高校教育振興会総会

7月13日、園部高校で園部高校教育振興会の総会と記念講演が開催されました。平成30年度の事業報告と決算報告、また今年度の事業計画、予算案などが審議されました。

記念講演では西村市長が講師として、「園部藩400年と南丹市の街づくり」と題し、南丹市のまちづくりの課題点をいくつか挙げた上で、「まちの魅力を掘り起し、地域が誇りと希望をもてるまちづくりをしていきたい」と話されました。

6月23日に氷室の郷で「第12回にぎわい太鼓祭り」が開催されました。

南丹市をはじめ、さまざまな市町から参加した11団体総勢100名以上が出演され、日頃の練習の成果を披露されました。

太鼓から発する迫力ある音が、およそ400人の来場者を魅了し、演奏が終わると、盛大な拍手がありました。また、参加された団体同士で刺激を受け合い、団体同士の交流の場ともなりました。



▲太鼓の演奏を披露する演者

「迫力ある演奏が会場を震わせる」

(6/2にぎわい太鼓祭り)

「大河ドラマがもっと楽しくなる」

7/12 令和元年度さくら楽習館「歴史講座」



▲谷性寺でガイドの話を受講者

7月12日、55歳以上の市民を対象とした生涯学習講座「さくら楽習館」の「歴史講座」を開催しました。講座では、令和2年大河ドラマ「麒麟がくる」をテーマに、明智光秀公ゆかりの谷性寺とききょうの里(亀岡市)を見学しました。

光秀公の家紋であるキキョウが咲き誇るききょうの里で自由散策した後、「ふるさと亀岡ガイドの会」の案内の下、首塚がまつられている谷性寺で話を聞きました。受講者らは興味深々に質問をされる場面もあり、光秀公の歴史に思いを馳せました。

「氷室の郷にダチョウの彫刻を寄贈」

7/31 氷室の郷ダチョウ彫刻寄贈

7月31日、八木町の八木農村環境公園「氷室の郷」に、同施設で飼育されているダチョウをモデルにした彫刻が寄贈されました。この作品は彫刻家の細川忠夫さんが制作されたもので、2014年の日展に入選しています。

「愛・育む」と題された作品は、高さ1.6メートル、幅1.1メートルあり、同施設内に展示される予定です。

寄贈に対し細川さんは「日展に初入選したこともあり、特に思い入れが深い作品です。モデルとしたダチョウが居る場所に寄贈できて嬉しい」と話されました。



▲寄贈された細川さん(左)と氷室の郷國府理事長(右)

なんたんミュージアム

-75-

―南丹市立八木東小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の
講評を掲載しています。

「故郷
（智恵寺）」

片山 爽葉さん（6年）



▲屋根の瓦の色使いがすてきで、一つ一つの瓦を見ていると、絵に引き込まれていきます。

「ホワイトボード」

畑 晴輝さん（5年）



▶初めて電動糸のこぎりを使い、ペンのギンの枠を上手に丁寧に切り取ることができました。

「土」

西村 幸之佑さん（3年）



▶筆遣いに気を付けて、縦画・横画を力強く書くことができました。

「ティラノサウルス」

小面 輝幸さん（2年）



▲カッターナイフを上手に使い、形の重なり方を工夫して、すてきな作品になりました。

編集後記

まだまだ暑い日が続いています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

私が広報担当となって、もうすぐ半年がたちます。時間の流れの早さに驚きつつ、半年を振り返ると、取材の中で出会った人や場所に刺激を貰い続ける日々でした。これからも皆さんに出会えることを楽しみにしながらカメラ片手に南丹市の端から端まで奔走していきたいと思えます。

(M)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市** なんたんし



●総人口：31,723人(-10)
(男：15,349人・女：16,374人)
(5) (-15)
●世帯数：14,272世帯(0)
(令和元年8月1日現在)
()内は前月比



わが家の
アイドル

●園部町

みなと
湊

かのん
海音くん(5歳・左)

ひまり
日葵ちゃん(3カ月・中)

せな
世那くん(4歳・右)

「3人とも宝物だよ♥

元気に仲良く育てね。」(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは秘書広報課まで

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。